

# グリーン調達ガイドライン

2021年 8月

ファインプラス株式会社



## 1、はじめに

日頃より、ファインプラス株式会社(以下、弊社)生産・調達活動に多大なご協力をいただき、誠に有難うございます。

弊社は「地球環境の保全が人類共通の最重要課題の一つである」との認識のもと環境保全活動を継続的かつ着実に取り組んでいます。

製品の環境負荷物質低減を実現するには、環境負荷の少ない原材料や部品等の入手が必要不可欠となります。

環境に即した資材調達を進めるため、ここに「グリーン調達ガイドライン」を制定し仕入先様のご理解ご協力を賜り、活動の推進を図っていく所存であります。

仕入先様におかれましては、弊社のグリーン調達の実現のため、今後とも引き続きご協力のほど、宜しく願いを致します。

## 2、適用範囲

本ガイドラインの適用は、弊社が購入する「原材料」「マスターバッチ」「部品」「半製品」「生産工程にて使用する補助材・消耗品」「梱包材」とする。(以下、購入材)  
ただし、弊社からの指定材(品)や当社顧客の指定材(品)は除きます。

## 3. 管理対象化学物質

弊社は、下記の法規/規制等に規定される、最新版の管理対象物質を、その管理対象化学物質と致しますので、遵守(管理・削減・非含有等)お願いを致します。

### 1.GADSL = Global Automotive Declarable Substance List

\* GADSLは定期的に改定されますが、弊社環境負荷物質は、最新のGADSLに記載されている物質・管理区分・閾値・管理条件を適用します。

### 2.RoHS指令 = Restriction of the use of the certain hazardous Substances in Electrical and Electronic Equipment

**3.弊社指定の特定禁止物質=対象物質については、弊社までお問い合わせください。最新の禁止物質リストをご案内させていただきます。  
記載されている物質・閾値を適用します。**

## 4. 仕入先様へのお願い事項

### 4-1. 環境マネジメントシステム(EMS)の構築

弊社は、2009年より「M-EMS:みえ・環境マネジメントシステム・スタンダード ステップ2」に基づく、環境マネジメントシステムを導入し、環境負荷の低減に努めてまいりました。

今後も、より一層 環境保全活動に取り組んでまいります。

つきましては、仕入先様におかれましては、環境マネジメントシステムの構築/活動をお願いいたします。

要望事項:下記のいずれかを満たしていただくようお願いを致します。

- 1) ISO14000などの、環境マネジメントシステムの外部認証の取得
- 2) ISO14000などの、環境マネジメントシステムの外部認証の取得推進中
- 3) ISO14000などの、環境マネジメントシステムの外部認証の取得準備として環境関連法規を遵守していること。
- 4) 環境負荷物質管理体制の構築、責任者の明確化とその取組み。

#### 4-2. 弊社購入材への、「禁止物質」含有禁止

弊社で使用する購入材について、上述「3. 管理対象化学物質」に規定される禁止物質が含有されないようにしてください。

#### 4-3. 弊社購入材の、環境負荷物質含有情報のご提供

仕入先様から新たに購入材をご納入いただく際、上述「3. 管理対象化学物質」に規定される化学物質の含有状況を示すデータのご提出をお願い致します。

\* 初品ご納入後も、不定期に実測値/成分データのご提出をお願いすることがあります。要請時には、ご協力宜しくお願いを致します。

#### 1) IMDS もしくは 成分表(データ)のいずれか

または、場合によっては、chemSHERPA等で最新GADSL収載物質及びRoHS指令に定める禁止10物質に係る含有状況が明確な調査資料(データ等)。

##### \* RoHS指令で定める禁止10物質

鉛(pb)  
水銀(Hg)  
カドミウム(Cd)  
六価クロム(Cr+6)  
ポリ臭化ビフェニル (PBBs)  
ポリ臭化ジフェニルエーテル (PBDEs)  
DEHP フタル酸ジニエチルヘキシル(CAS No. 117-81-7)  
DBP フタル酸ジブチル(CAS No. 84-74-2)  
BBP フタル酸ブチルベンジル(CAS No. 85-68-7)  
DIBP フタル酸ジイソブチル(CAS No. 84-69-5)

#### 2) 弊社特定禁止物質に係る含有状況が明確な調査資料(データ・宣言書等)。

#### 3) その他、弊社が個別にご提出を要請するデータ/資料

\* 提出データについて、ご不都合ご不明な点があれば、ご相談をさせていただきます。

\* 下記 2項目に起因し発生した弊社の損害については、仕入先様に、その損害賠償の請求についてご相談をさせていただく場合があります。

- 1) 非含有とご回答いただいた禁止物質の含有 もしくは 閾値を超えた含有
- 2) ご回答いただいた管理化学物質の含有濃度を超える含有

#### 4-4. 仕入先様社内の環境負荷物質に係る管理

- 1) 弊社購入品に関し、仕入先様でご購入がある場合には、その購入先様への弊社「管理対象化学物質」の通知。
- 2) 弊社購入品に係る、仕入先様の製造工程での化学物質混入防止の標準化。
- 3) 仕入先様での、初品もしくは工程変更時での環境負荷物質含有調査の実施。特に、禁止物質の含有有無調査。
- 4) 仕入先様での、禁止物質含有を発見した場合の処置手順の標準化。弊社購入品に係る場合には、速やかにご連絡をお願い致します。
- 5) 監査対応のお願い。  
所定のチェックシート等により仕入先様には、自主監査の実施と、結果のご報告をお願いする場合があります。  
また、場合によっては実地監査をさせていただく場合もありますので、ご了承お願い致します。

#### 4-5. グリーン調達同意書のご提出

この同意書は、弊社グリーン調達ガイドラインについて、各仕入先様が その趣旨にご賛同いただき、今後の取引において、上述「3. 管理対象化学物質」に基づいた環境負荷物質管理対応にご協力いただけることを確認させていただくものです。

<ご提出いただく資料>

- 1) グリーン調達同意書
- 2) 環境調査書(商社用もしくは製造会社用) の2部となります。

<グリーン調達ガイドライン 最新版について>

最新の弊社グリーン調達ガイドラインは 弊社HPでご確認をお願いをします。

<http://www.fineplas.jp/>

<問い合わせ先>

ファインプラス株式会社 管理部 076-475-2105

ファインプラス株式会社「グリーン調達ガイドライン」制定、改訂履歴

版	発行年月日	発行理由
初版	2015/ 9/25	新規制定
2版	2015/10/12	<p>3頁:「4-3. 弊社購入材の、環境負荷物質含有情報のご提供」</p> <p>前</p> <p>&lt;「原材料」「マスターバッチ」「部品」「半製品」については&gt;</p> <p>1) JAMAシート IMDS 成分表 のいずれか</p> <p>2) 及び MSDSplus</p> <p>3) その他、弊社が個別にご提出を要請するデータ/資料</p> <p>後</p> <p>&lt;「原材料」「マスターバッチ」「部品」「半製品」については&gt;</p> <p>1) JAMAシート IMDS 成分表 のいずれか</p> <p>場合によっては、MSDSplus もしくは AIS のいずれか</p> <p>2) その他、弊社が個別にご提出を要請するデータ/資料</p> <p>理由:含有化学物質調査の重複請求の回避</p>
3版	2015/12/ 5	<p>2頁:「3. 管理対象化学物質」</p> <p>「1.GADSL」について、常時最新版を準拠する旨、追記</p>
4版	2019/ 7/ 26	<p>3頁:「4-1. 環境マネジメントシステム(EMS)の構築」</p> <p>「4) 環境負荷物質管理体制の構築、責任者の明確化とその取組み。」の追加。</p> <p>3頁:「4-3. 弊社購入材の、環境負荷物質含有情報のご提供」で、ご提出いただくデータ内容の見直し。</p> <p>及び「* 含有する化学物質が100%わかるようなデータのご提出をお願いします。」の削除。</p>
5版	2020/ 12/ 23	<p>3頁:「4-3. 弊社購入材の、環境負荷物質含有情報のご提供」で、JAMAシート及びMSDSplusを削除。</p>
6版	2021/ 8/ 25	<p>2頁:「3. 管理対象化学物質」で</p> <p>「3.弊社指定の特定禁止物質・・・」の追記</p> <p>3頁:「4-3. 弊社購入材の、環境負荷物質含有情報のご提供」で、</p> <p>「2) 弊社特定禁止物質に係る含有状況が明確な調査資料(データ・宣言書等)。」を追記。</p>